

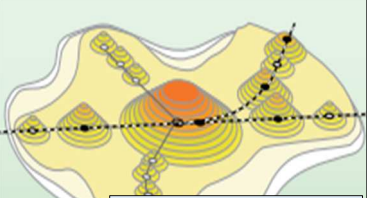



Waldstadt Zentrum C



そして、皆さんのホッネは？
ワンショットレクチャー(OL)実施状況

◎コンパクトシティへの意識(受容性)調査の実施

	過去調査	現在調査
調査期間	 2007.7 ~ 2008.11	 2014.11 ~ 2015.10
サンプル	587(うち公務員442)	635(うち公務員421)
対象者	都市計画担当者(特に公務員を抽出)	
調査方法	講演会でコンパクトシティについてレクチャーの機会 レクチャー前・レクチャー後でアンケートを実施	

調査を実施したレクチャー一覧

	調査日時	調査会場	回収
過去調査	2007年	7月2日 市街地整備促進協議会	53
		10月4日 市街地再開発事業研究会	76
	2008年	2月1日 鳥取県コンパクトシティ講演会	134
		2月13日 広島県議会拠点づくり講演会	33
		5月15日 津山市まちの再生・活性化のありかた委員会講演会	32
		7月17日 岡山県都市計画協会講演	62
		10月3日 全国地区計画推進協議会	135
		11月19日 国土交通大学研修	35
		11月2日 INEX推進協議会講演会	27
		計9回	
現在調査	2015年	7月14日 市街地整備促進協議会	19
		7月17日 市街地再開発事業研究会	23
		7月21日 鳥取県コンパクトシティ講演会	37
		8月3日 福井県都市計画協会、まちづくりセミナー	105
		8月15日 東海市議員研修会	40
		8月18日 北広島市市役所職員向け説明会	60
		8月20日 茨城県内市町村担当者向け説明会	64
		8月25日 高崎市研修会	15
		8月28日 国土交通大学校研修	34
		8月31日 千葉県出前講座	42
		9月4日 経団連、都市・住宅政策委員会企画部会	31
		10月8日 東京ガス主催立地適正化計画講習会	75
		10月22日 都市計画協会主催都市計画セミナー	65
		10月27日 大分県主催都市計画講演会	24
	計14回		

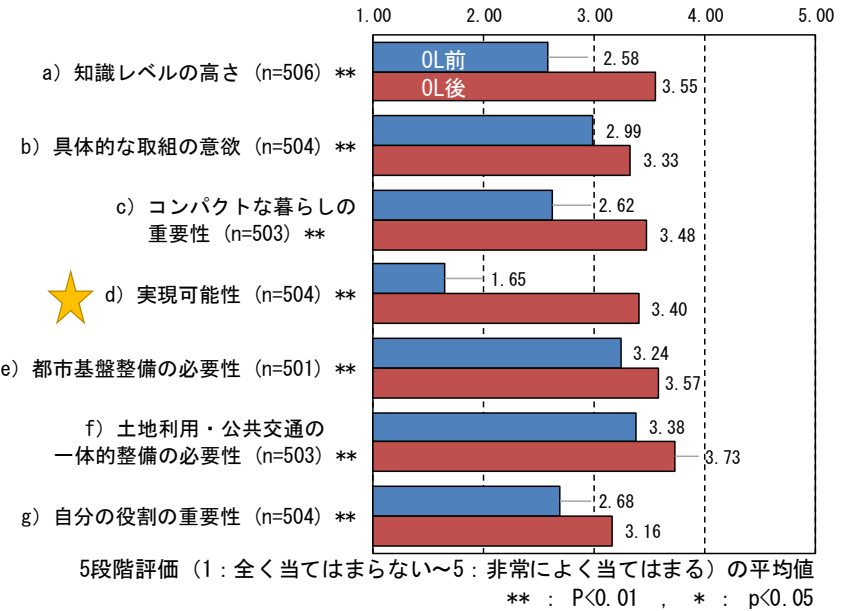
複数回の調査実施で、多くのサンプルを回収

回答が得られた地方自治体一覧

	都道府県	市区町村					
		50万人以上	30万人以上 50万人未満	15万人以上 30万人未満	5万人以上 15万人未満	5万人未満	特別区
北海道 東北	北海道 青森県 福島県 山形県	札幌市 仙台市	郡山市 旭川市 秋田市	盛岡市 山形市 八戸市	天童市 北広島市	南部町 池田町 津別町	-
関東	茨城県 千葉県 東京都 埼玉県 栃木県 神奈川県 群馬県	横浜市 川崎市 千葉市 宇都宮市 相模原市 船橋市 さいたま市 川口市	越谷市 所沢市 市川市 前橋市 高崎市 松戸市 町田市 藤沢市	水戸市 調布市 日立市 つくば市 ひたちなか市 厚木市 三鷹市 鎌倉市 浦安市 市原市 佐倉市 八千代市 平塚市 草加市 茅ヶ崎市 日野市 立川市	足利市 土浦市 坂戸市 島田市 福城市 羽島市 坂東市 那珂市 筑西市 神栖市 印西市 茂原市 君津市 笠間市 白井市 銚田市 成田市 我孫子市 袖ヶ浦市 常陸太田市 大網白里市 小平市 和光市 蓮田市 小金井市 旭市	東海村 富里市 富津市 大子町 鴨川市 潮来市 酒々井町 かずみがうら市	板橋区 葛飾区 渋谷区 荒川区 江戸川区 新宿区 足立区 千代田区
中部	山梨県 静岡県 石川県 長野県 富山県 新潟県 愛知県	新潟市 浜松市 静岡市 名古屋市	豊田市 富山市 長野市 豊橋市	長岡市 富山市 大垣市 沼津市	刈谷市 掛川市 多治見市 東海市	茅野市	-
近畿	兵庫県 大阪府 和歌山県 京都府 福井県 三重県	大阪市 堺市 神戸市 京都市 姫路市 東大阪市	尼崎市 和歌山市 奈良市 西宮市 豊中市	福井市 明石市	生駒市 八幡市 京田辺市 福知山市 坂井市 越前市 鯖江市 敦賀市	広陵町 日野町 河合町 美浜町 大野市 越前町 若狹町 高浜町 あわら市 菊川市	-
中国 四国	広島県 香川県 岡山県 鳥取県 山口県 島根県	広島市 松山市	高松市 倉敷市 岡山市 金沢市 福山市	鳥取市 今治市 東広島市 徳島市	米子市 津山市 総社市 倉吉市 玉野市	備前市 境港市 江府町 新見市 浅口市 大山町 早島町 伯耆町 勝央町 北栄町 日南町 日吉津村 杵築市 臼杵市 国東市 竹田市 日出町 豊後高田市 豊後大野市	-
九州 沖縄	沖縄県 長崎県 熊本県 大分県 鹿児島県 福岡県	福岡市 宮崎市 熊本市 北九州市 鹿児島市	久留米市 長崎市 那覇市 大分市	佐賀市	諫早市 佐伯市 始良市 中津市 日田市 別府市 宇佐市	杵築市 臼杵市 国東市 竹田市 日出町 豊後高田市 豊後大野市	-

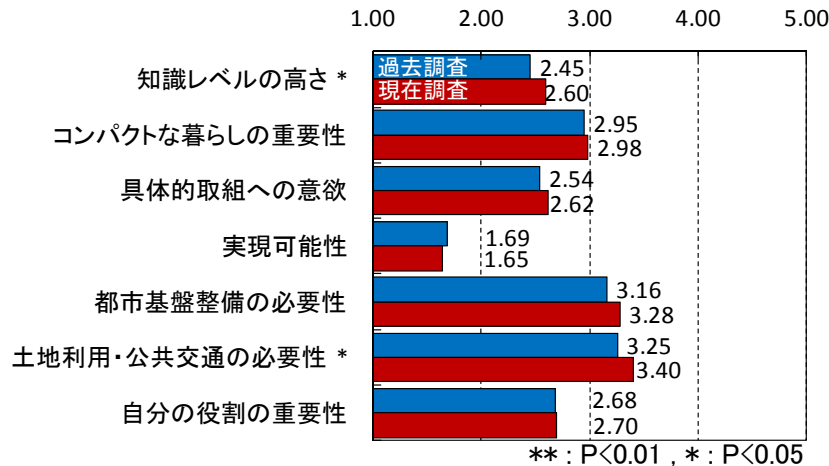
調査時点 : 過去・現在両方実施 (人口集計時点) 現在調査のみ (平成27年1月1日) 過去調査のみ (平成21年3月1日)

OL前後のコンパクトシティ受容性の変化(現在調査)⁴⁶



コンパクトシティへの受容性に関する認識の変容⁴⁷

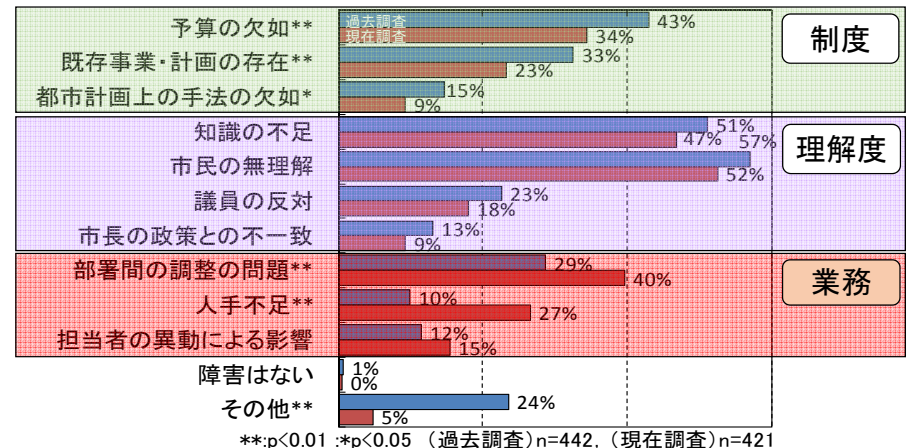
レクチャー前 コンパクトシティへの認識の平均得点の変化



制度が整ったが、コンパクトシティの実現は難しいという考え

コンパクトシティ実現への障害⁴⁸

過去調査2007年後、現在調査2014年後
政策へ関わる都市計画担当者が障害の変化を回答



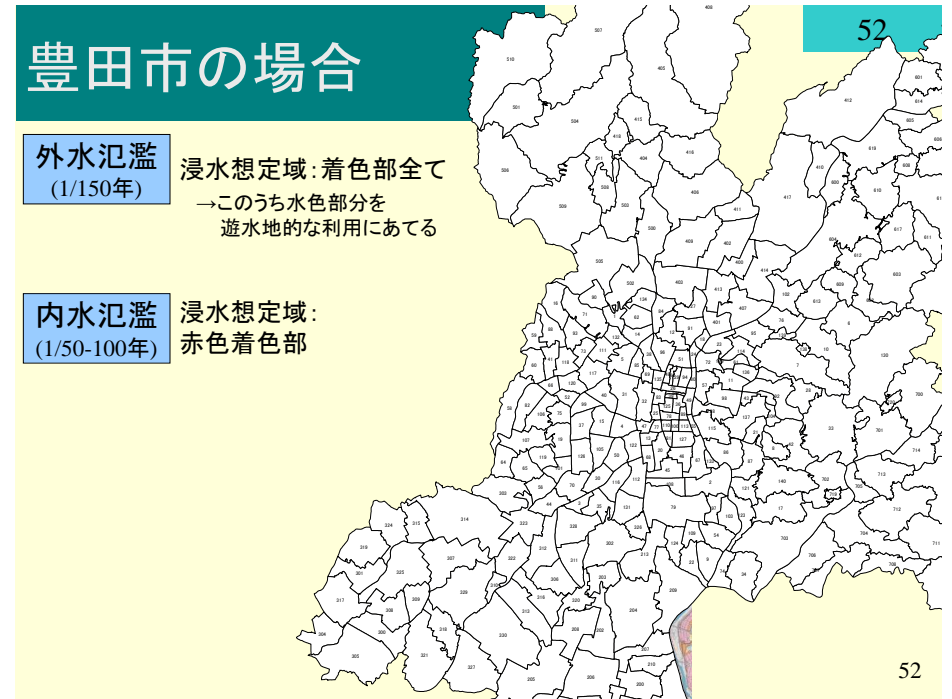
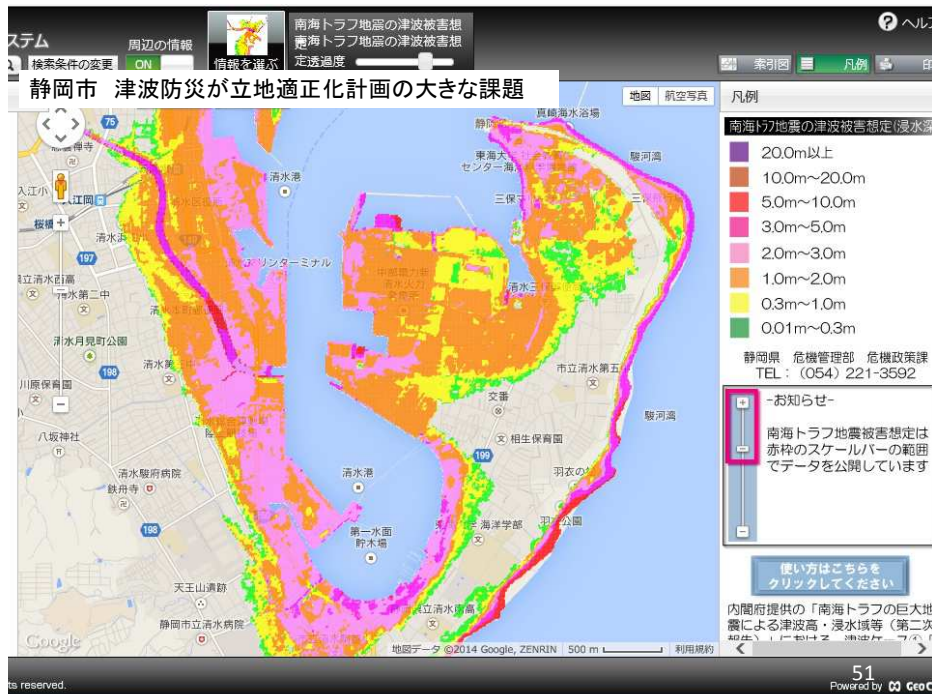
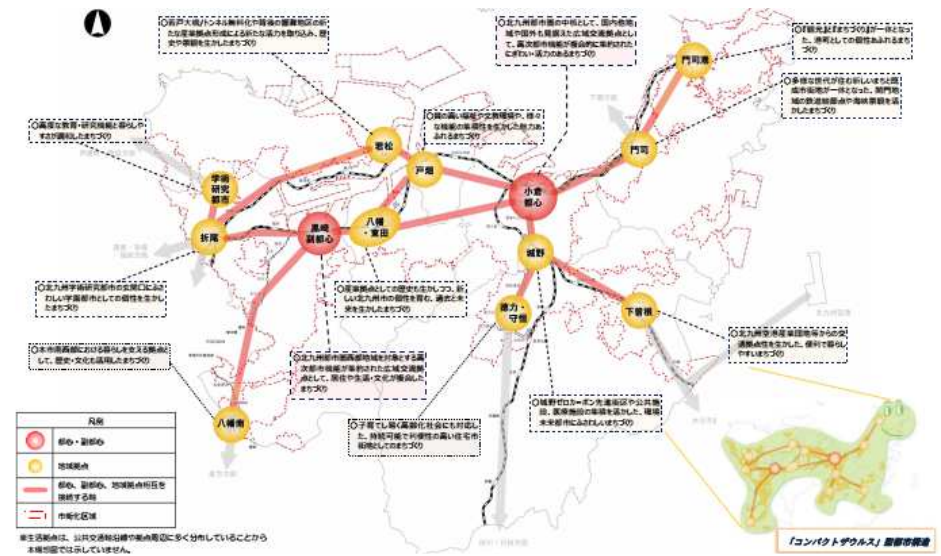
実際に政策への取組が動き出したことで、新たな課題を認識

どうするのがよいのか

●百都市百様
他をコピーしてもうまくいかない。

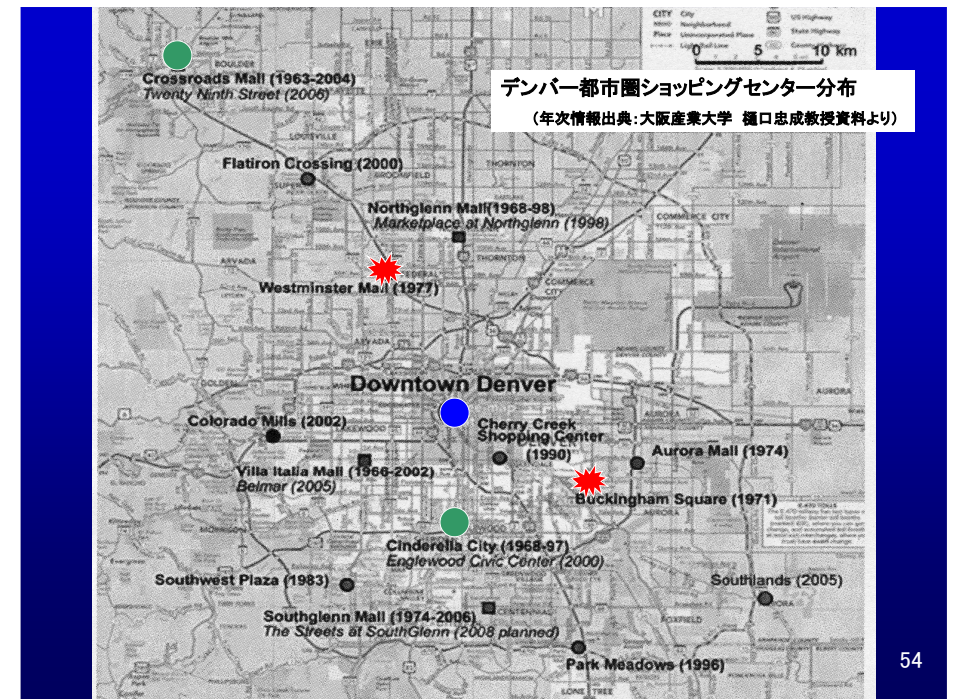
それぞれでどう考える？

市民とどう共有？ 北九州市のケース



判断のポイントをいくつか

- ショッピングセンターを中心に郊外にまちが広がってるが...
- 公共交通や市民サービスをどれだけ提供し、どう維持する？
- 自分のまちだけでどれだけ対応する？
- 個人のメリットが見えにくい
- 今のコンパクトな市街地はこのままでいい？



Q: エストニア首都タリン43万人

一般会計の何%が公共交通へ?



地域の活性化等の成長戦略も踏まえ、多様な関係者の連携により、地域公共交通の確保・維持を図るとともに、地域公共交通の改善に向けた取組みを支援

平成26年度予算 306億円
(対前年度比1:00)

1. 地域の特性に応じた生活交通の確保維持(地域公共交通確保維持事業)

<支援の内容>

- 過疎地域等における幹線バス、デマンドタクシー等の運行
- バス車両の更新等



- 離島航路・航空路の運航



2. 快適で安全な公共交通の構築(地域公共交通バリア解消促進等事業)

<支援の内容>

- 鉄道駅におけるホームドア・エレベーターの整備
- 鉄道駅の安全性向上に資する設備(※)の更新等
- LRT・BRTの整備、ICカードの導入・活用等



【LRT】
低床式路面電車による幹線的な交通システム

【BRT】
通勤バス、バスレーン等を組み合わせた幹線的な交通システム

3. 公共交通の充実を図るための計画策定等の後押し(地域公共交通調査等事業)

<支援の内容>

- 地域公共交通網の形成のための計画の策定に資する調査
- バスからデマンドタクシーへの転換等の生活交通の確保等に係る地域の合意形成に資する調査
- 公共交通マップの作成等を通じた地域ぐるみでの利用促進

【東日本大震災対応】被災地のバス交通等に対する柔軟な支援

平成26年度予算 25億円
(東日本大震災復興特別会計:復興庁一括計上分)

<支援の内容>

- 被災地の幹線バスの運行(運行費補助要件の緩和等の特例措置により対応)
- 仮設住宅等を巡る地域内バス等の運行(実証運行の通年化等の調査事業の特例措置により対応)

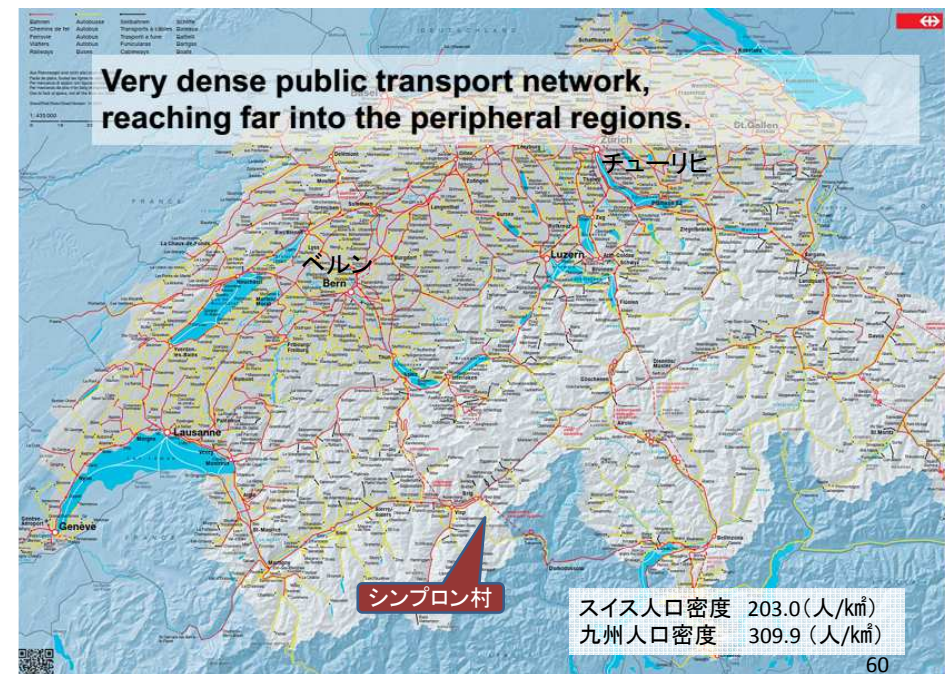


少ない需要なら、それらをまとめることを考える
タテ割りの打破 移動販売+郵便+バス+医療+...

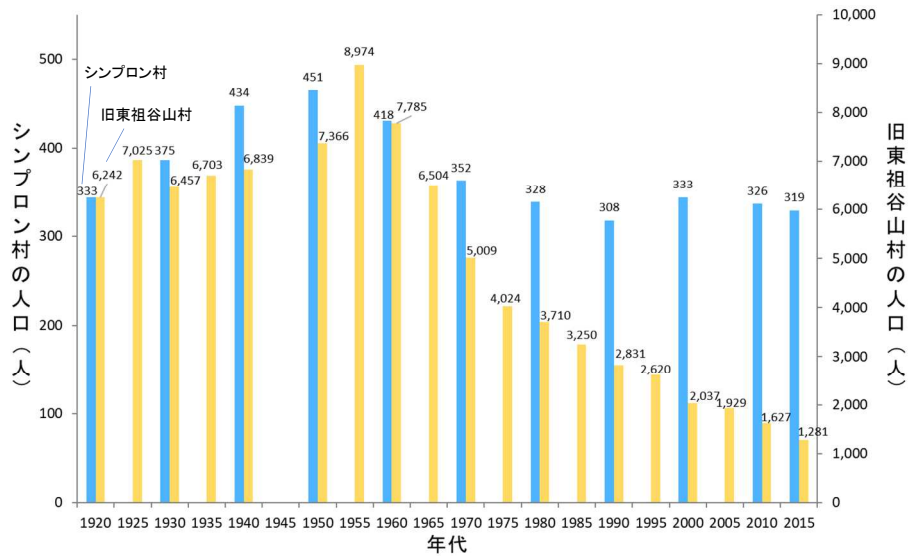


<http://japan.unifrance.org>

<http://www.rosevilla-mito.org/health/index.html>



Fernverkehr



出典: スイス連邦統計局、国勢調査
 ※1940年のシンブロン村の人口は1941年のデータ
 ※旧東祖谷山村は2006年に合併し、現在は三好市の一部

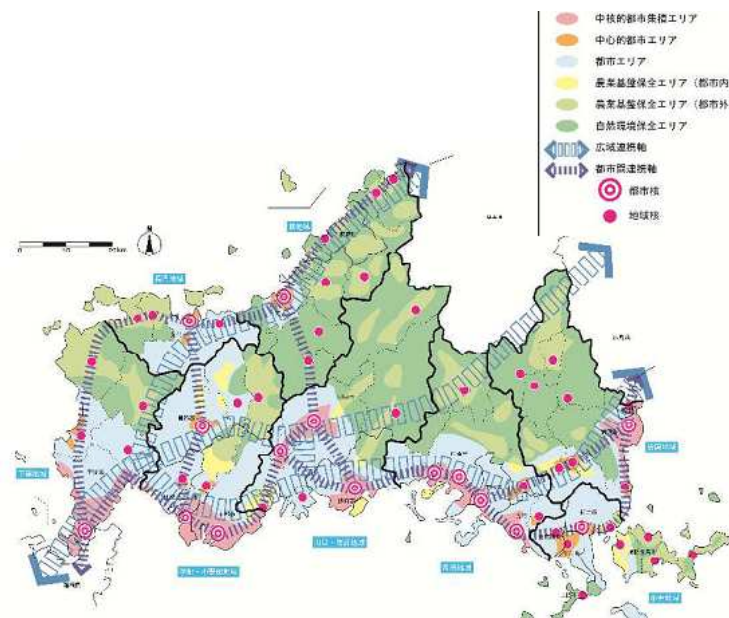


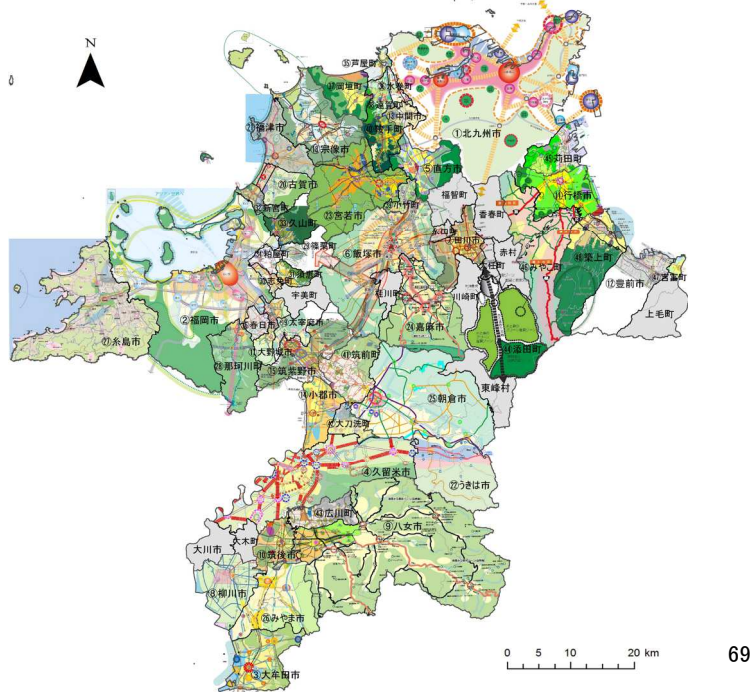


食料品店も



銀行も





69



70

健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン



○地域包括ケアシステムの構築等と連携したまちづくりの推進を図るため、地方公共団体に対する技術的助言として「健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン」を发出（平成26年8月1日）。

「健康・医療・福祉まちづくり研究会」 （平成25年度）

< 構成員 >

○学識経験者（敬称略）

岸井隆幸（座長） 秋山正子 久野謙也
久保田尚 酒向正春 田辺恵一郎
谷口守 中川雅之 羽藤英二 平野隆之
広井良典 福井恒明 村木美貴
室田昌子 渡辺修一郎

○地方公共団体

伊達市 牛久市 志木市 渋谷区 調布市
新潟市 見附市 岐阜市 高石市 松山市

○関係省庁

内閣官房 厚生労働省

※事務局：国土交通省都市局

（まちづくり推進課、街路交通施設課）
（平成25年5月時点）

「健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン」

○歩いて移動できる身近な地域に暮らしに必要な機能が集積し、コミュニティ活動にも適したコンパクトなまちづくりを目指す。

1. データ等を活用した地域課題の「見える化」

・高齢化、施設立地、歩行・外出行動、健康意識等

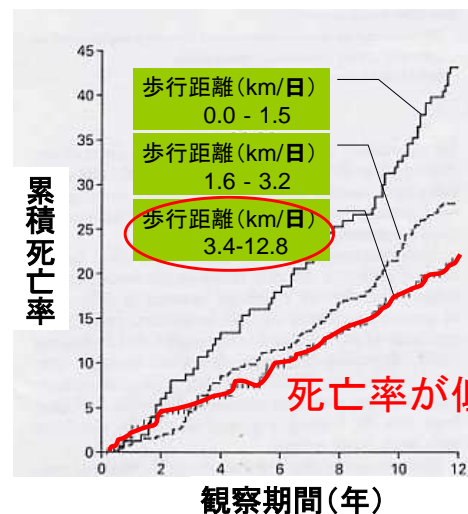
2. 健康・医療・福祉のまちづくりに必要な取組のパッケージ化

- 【1】住民の健康意識を高め、運動習慣を身につける
- 【2】コミュニティ活動への参加を高め、地域を支えるコミュニティ活動の活性化を図る
 - ・社会参加の促進、多様な主体の連携、コミュニティ活動の拠点づくり、コミュニティビジネスの活用 等
- 【3】日常生活圏域・徒歩圏域に都市機能を計画的に確保する
 - ・日常生活圏域には、地域包括ケアシステムの実現を図るため、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援の機能を一体的に確保
 - ・徒歩圏域には、特に利用頻度の高い機能や歩行を促進するような機能を確保 等
- 【4】街歩きを促す歩行空間を形成する
 - ・歩行継続距離を踏まえたネットワーク化、沿道景観・休憩施設等の充実、道路横断の抑制、段差の解消 等
- 【5】公共交通の利用環境を高める
 - ・駅から居住地までの距離等と外出率の関係 等

3. 取組効果のチェックと取組内容の改善

71

歩行と健康の関係



歩行量と死亡率の関係

1日の歩行距離が短い
被験者における
累積死亡率が高い

72

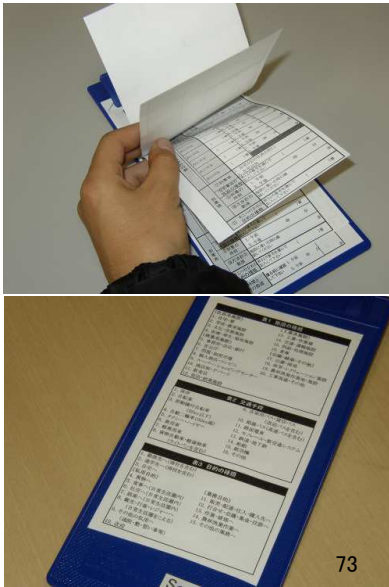
出典：Effects of walking on mortality among nonsmoking retired men

トリップ番号
1

月 日

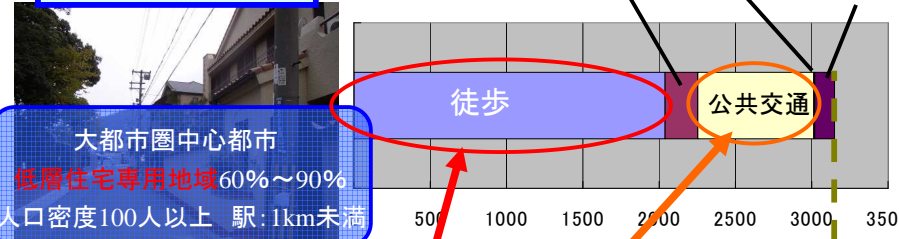
歩行量調査(万歩計使用)

①起床時間	1. 午前 時 分 2. 午後 時 分	0 歩
出発地	②出発地	1. 自宅(①の住所と同じ) 2. 自宅以外
	③出発地の施設の種類の	表1より番号を選んで記入して下さい ()番
	④出発の時刻	1. 午前 時 分 2. 午後 時 分
	⑤万歩計の数値	施設から出た時に確認して下さい
移動中の行動	⑥利用された交通手段の種類	利用された交通手段の種類
	⑦はじめに何を	乗換地点の時刻は ()番 1. 午前 時 分 2. 午後 時 分
到着地	⑧到着地の施設の種類の	表1より番号を選んで記入して下さい ()番
	⑨到着の時刻	1. 午前 時 分 2. 午後 時 分
	⑩万歩計の数値	施設に着いた時に確認して下さい
⑪そこへ行かれた目的の種類	表3より番号を選んで記入して下さい ()番	

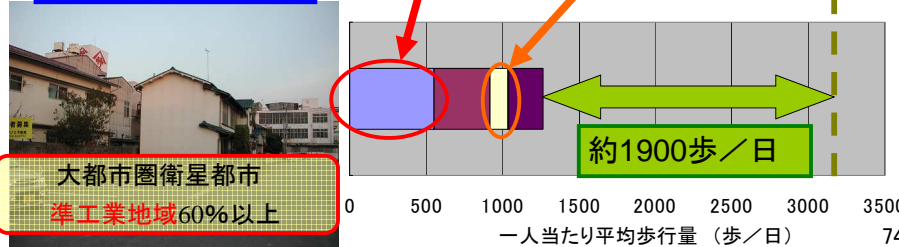


大都市圏 移動歩行量

移動歩行量最大

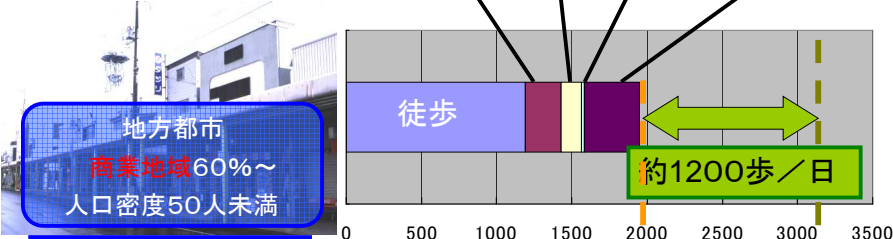


移動歩行量最小

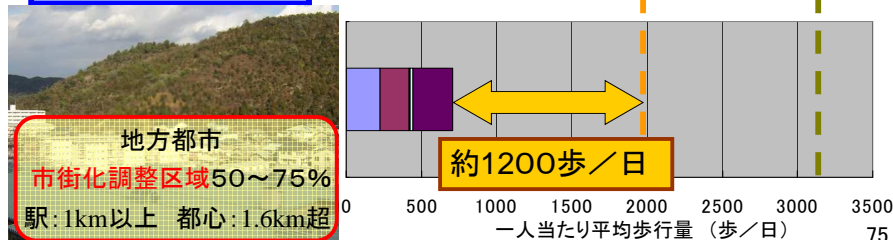


地方都市圏 移動歩行量

移動歩行量最大



移動歩行量最小



市街地イメージ

【相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保】
相対的に広範囲からの利用が見込まれる一般病院や市役所、中央図書館等の都市機能の商業的施設や商業施設におけるビル・デパート・商店街、商業中核商業施設、広域等の都市機能については、都市内において公共交通によるアクセスがしやすい位置に機能を確保する。

【相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保】
相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。

【相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保】
相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。

【相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保】
相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。相対的に広範囲からの利用が見込まれる都市機能の確保。

ガイドラインより

【別紙】「健康・医療・福祉まちづくり」のイメージ

【別紙】「健康・医療・福祉まちづくり」のイメージ

【別紙】「健康・医療・福祉まちづくり」のイメージ

【別紙】「健康・医療・福祉まちづくり」のイメージ

実は、都市コンパクト化時代の市街地整備における、隠れた重要な問題は・・・

質

77

1996住区の中で一番交通環境負荷が小さい住区！？

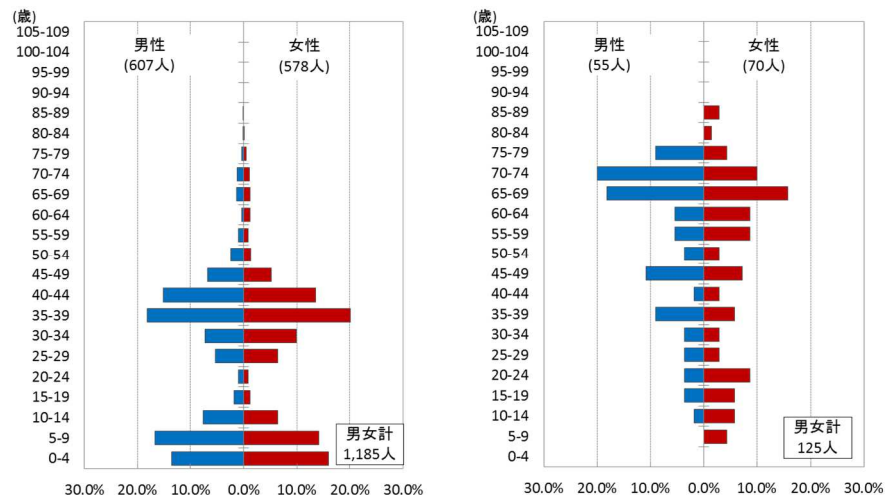


78



79

居住誘導を考えるうえで本当に必要なのは地区ベースの「カルテ」



ひたち野西1丁目における階層年齢別人口割合

柴町5丁目における階層年齢別人口割合

(いずれも2014年7月現在)
80

住区ベース検討

→ 地区カルテ化

ありふれた まちかど 図鑑

住宅地から考える
コンパクトなまちづくり

谷口守・松中亮治・中道久美子 著

A Pictorial Encyclopedia of
Residential Zones in Japan
For Sustainable Urban Planning

中心市街地の衰退、郊外の乱開発、増大する交通環境負荷、減少する人口と高齢化…
「ありふれた」まちかどが示す「これからの」まちのありかた。

日本の「まち」約2,000住区の膨大なデータ・画像を収集し、
129種類のタイプに整理・収録。

まちづくりに役立つ「図鑑」が完成!!

技報堂出版

81

SM
12

中京・駅徒歩圏外・郊外・低層住宅タイプ
・大都市圏衛星都市の中で中心からの距離が最大
・計画的な戸建て住宅地である場合が多い
・1戸の面積が大きい落ち着いた戸建て住宅地である場合が多い

大都市圏衛星都市

(分類条件)

土地利用規制	低層住宅専用地域	50~100人	1km~	-	5km~
人口密度	駅から	列車本数	都心から		



奈良市学園大和町1~5丁目

2005年9月N撮影

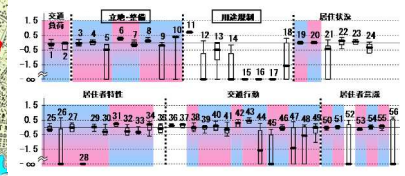
千葉市若葉区小倉台1~7丁目

2005年11月N撮影



都市ドック カルテ化サンプル 症例共有化

栄町1丁目



82

時間が残れば
クルマ型の拠点もコントロール十分なら有り。
英国カーディフ 都心に駐車場を集中



都市計画の基礎教育 から変えていければ

2014年の法律改正反映

2015.1.
アマゾン・ランキング1位
(建築・土木部門)

日経新聞書評紹介

2015.地域学会
著作賞受賞

~まちづくりの原点がここにある~

少子高齢化、薄薄・資源問題—
変化する社会環境の中で、これからの都市のあり方を考える

入門 都市計画

筑波大学教師 工学博士
谷口 守 [著]
160頁 定価2,376円
ISBN 978-4-627-45261-9
2014.10下旬発売



都市の機能とまちづくりの考え方

制度創設は必要最小限に抑え、
都市計画の考え方そのものについて、
具体的な事例を多く交えながら
都市のまちづくりと、それに沿った
都市のあり方を考えることで、
大きく変化した社会環境の下での
よりよいまちづくりを示します。

- 本書は、これまでになく都市計画が読者の手に届くように、現代都市の発展と都市計画の重要性をわかりやすく解説する。
- 本書は、都市計画の基礎知識を、都市計画の専門家だけでなく、都市計画に関心のあるすべての人々に伝える。
- 本書は、都市計画の基礎知識を、都市計画の専門家だけでなく、都市計画に関心のあるすべての人々に伝える。
- 本書は、都市計画の基礎知識を、都市計画の専門家だけでなく、都市計画に関心のあるすべての人々に伝える。

書籍の詳細・ご購入は、お近くの書店/森北出版まで。
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-11丸の内書士ビル2F
TEL 03-3265-8342
WEBサイト <http://www.morikita.co.jp/>

84

